

東臼杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和6年3月 東臼杵農林振興局
（東臼杵南部農業改良普及センター）

目次

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き（P 2～3）

- 1) 【全域】3月期子牛セリ市が開催
- 2) 【門川町】令和6年の営農座談会が開催
- 3) 【門川町】門川町和牛部会総会で研修会を実施
- 4) 【全域】東臼杵南部もみすり組合通常総会が開催
- 5) 【椎葉村】春の七草九州生産者交流会が開催
- 6) 【美郷町】美郷町野菜部会総会が開催
- 7) 【諸塚村】諸塚村園芸部会総会が開催
- 8) 【日向市】日向市東郷町野菜園芸部会総会が開催
- 9) 【日向市・門川町】果樹の各部会総会が開催

II 主な普及指導活動等の取組み

1 プロジェクト（基本、専門、重点）に関する普及活動（P 4～7）

- 1) 【日向市】農業経営サポート事業の活用による専門家指導を実施
- 2) 【日向市】農業経営改善計画の認定審査会が開催
- 3) 【椎葉村】青年等就農計画認定審査会が開催
- 4) 【美郷町】きんかん経営継承にかかる検討会（継続）を実施
- 5) 【全域】日向地域農業再生協議会労力サポート部会が開催
- 6) 【全域】日向地域農業再生協議会担い手対策部会が開催
- 7) 【日向市】経営開始資金等の受給者の就農状況を確認
- 8) 【日向市】新規就農相談会を開催
- 9) 【全域】若手畜産農家を対象に畜産基礎研修会を開催
- 10) 【美郷町】鬼神野地区の役員会でアンケート実施
- 11) 【諸塚村】諸塚産ウーロン茶のティーバッグを試作
- 12) 【諸塚村】もろつかウーロン茶研究会が開催
- 13) 【門川町・日向市】営振協重点展示ほ現地検討会が開催
- 14) 【美郷町】くり主幹形密植栽培展示ほ検討会を実施
- 15) 【美郷町】冬春ミニトマト定例会で新品種の検討を実施

2 プロジェクト（基本、専門）以外の普及活動（P 8～9）

- 1) 【全域】日向・東臼杵農山村女性会議実績報告会の実施
- 2) 【県域】製茶研修に参加
- 3) 【椎葉村】ほうれんそうの施肥設計支援等を実施
- 4) 【椎葉村】ミニトマトの施肥設計支援を実施
- 5) 【日向市・美郷町・諸塚村】ホオズキ産地戦略ビジョン改訂を支援
- 6) 【美郷町】ゆず剪定講習会を支援

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1) 【全域】 3月期子牛セリ市が開催

21～22日、東臼杵市場で3月期子牛セリ市が開催され、雌243頭、去勢296頭、合計539頭（管内：雌170頭、去勢207頭、合計377頭）が取引されました。

平均価格は雌539千円、去勢614千円、合計580千円（管内：雌535千円、去勢616千円、合計579千円）で取引され、前回セリと比べて雌で45千円増、去勢で59千円増、合計で53千円増となりました。

また、今回はセリ前研修会で、生産者に対し子牛と母牛の飼養管理技術の説明を行いました。改めて飼養管理の基礎を見直し、次年度へ繋がるよう、支援を行っていきます。



【3月期のセリ】

2) 【門川町】 令和6年の営農座談会が開催

11～12日、門川町管内の6か所で営農座談会が開催されました。

各会場には、水田営農に携わる生産者が出席し、日向地区再生協議会事務局のJA日向担当者や門川町の担当者より、6年度経営所得安定対策のポイントやJA日向の水田営農に対する取組概要、営農計画書記入方法等について補足説明が行われました。

生産者からは、推進中の飼料用米で、6年作より導入が本格化する新品種「ひなたみのり」の特性等の質問が出ました。管内では、関係機関をはじめ技術員会でも「ひなたみのり」の安定多収が実現するよう積極的な支援に取り組んでいきます。

3) 【門川町】 門川町和牛部会総会で研修会を実施

8日、JA日向門川支店で門川町和牛部会総会が開催されました。役員改正等の議事や東臼杵畜連からの情報提供が行われた後、「繁殖成績向上に向けた母牛の管理」に関して講習を行いました。出席した農家は、説明を聞きながらメモを取ったり、頷いたりして飼養管理の基礎を改めて再確認できている様子が覗われました。



【熱心な講習】

次年度も引き続き、発育の良い子牛を生産者が育成できるよう支援していきます。

4) 【全域】 東臼杵南部もみすり組合通常総会が開催

18日、日向市内で東臼杵南部もみすり組合通常総会が開催されました。

令和5年度の活動実績や令和6年度の活動計画、役員改選等議事の協議が行われました。5年ぶりの集合形式での総会とあって、活発な協議が行われました。

5) 【椎葉村】 春の七草 九州生産者交流会が開催

6日、ホテルベルフォート日向にて春の七草九州生産者交流会が開催され、生産者や関係機関など62名が参加しました。4年ぶり第4回目の開催となる今年は、椎葉村七草部会が主催となり、挨拶や産地紹介、椎葉神楽の披露等が行われました。



【盛大な式典】

九州各県（福岡・佐賀・大分・熊本）の生産者や関係機関の交流も進み、大いに盛り上がり活発な情報交換が行われました。

6) 【美郷町】美郷町野菜部会総会が開催

7日、美郷町の野菜生産者16名、関係機関6名が参加し、美郷町野菜部会総会が開催されました。

本総会は令和元年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面決議であったため、5年ぶりに対面での開催となり、部会員からは久しぶりの開催を喜ぶ声が聞かれました。

美郷町での野菜販売額は1億5,000万円を超え、昨年から1,100万円の増加となりました。

今後も、JAとの巡回を通じて気象情報や病虫害発生予察等の情報を提供し、技術支援をしていきます。



【5年ぶりの総会】

7) 【諸塚村】諸塚村園芸部会総会が開催

14日、諸塚村の園芸生産者15名、関係機関7名が参加し、諸塚村園芸部会総会が開催されました。

生産者からは諸塚村の産業の一つの柱である農業を、各品目の生産振興を通して盛り上げていきたいという力強い声が聞かれました。

普及センターからは、農作業安全の啓発を行い、これからの時期に使用する乗用トラクターや農業機械の安全使用をお願いしました。



【園芸部会総会】

8) 【日向市】日向市東郷町野菜園芸部会総会が開催

15日、美郷町の野菜生産者16名、関係機関7名が参加し、日向市東郷町野菜園芸部会総会が開催されました。

東郷町では冬春ミニトマト6戸、冬春きゅうり、冬春いちご、ゴーヤが各1戸の計9戸が営農されており、総会では、地域への熱い思いが語られました。

普及センターからは、農作業安全と重油流出事故等の注意喚起を行いました。今後も、JAとの巡回を通じて気象情報や病虫害発生予察等の情報を提供し、技術支援をしていきます。



【野菜園芸部会総会】

9) 【日向市・門川町】果樹の各部会総会が開催

8日に日向夏部会、15日にマンゴー部会、19日に門川町果樹園芸組合、27日に平兵衛酢部会の総会が開催されました。

各部会で県域JA合併に伴う部会規約改正、役員改選について承認されました。またマンゴー部会と平兵衛酢部会では、産地戦略ビジョンについても協議が行われました。

コロナ禍により対面での総会は数年ぶりの開催となったこともあり、生産者からは組織活動を増やすよう求める意見も出されていました。



【日向夏部会総会】

II 主な普及指導活動等の取組み

1 プロジェクト（基本、専門、重点）に関する普及活動

1) 【日向市】農業経営サポート事業の活用による専門家指導を実施

5日に日向市の農家（施設園芸）2戸が農業経営サポート事業を活用し、専門家による指導を受けました。

今回の相談は、経営改善、雇用、法人化等に関する内容で、それぞれ個別に指導していただきました。助言を受けた農家からは、「自分の今後の経営について具体的に見直す良い機会になった」との感想が聞かれ、普及センターとしても関係機関と連携してフォローアップしていく予定です。

当事業は経営改善や事業承継、法人化相談等、経営に係る課題について専門家（税理士や弁護士及び社会保険労務士等）からの助言・指導を受けられる内容となっています。相談は無料で、一度だけではなく複数回の活用が可能です。興味のある方は、お気軽に普及センターまでお問合せください。

2) 【日向市】農業経営改善計画の認定審査会が開催

8日、日向市役所にて、認定農業者の農業経営改善計画認定審査会が開催され、更新3件（園芸1件、畜産2件）について承認されました。

3) 【椎葉村】青年等就農計画認定審査会が開催

19日、椎葉村役場において令和5年度青年等就農計画認定審査会が開催され、新規就農を開始する1名について審査が行われました。

村が新たに整備したハウスを借り受け、将来的には面積拡大も視野に入れた計画が立てられており、審査ではしっかり定着するための検討が活発に行われました。

高齢化が進む中、20代の若手の参入に期待が集まっており、関係機関が一体となった支援が始まっています。



【青年等就農計画認定審査会】

4) 【美郷町】きんかん経営継承にかかる検討会（継続）を実施

6日、生産者、JA、普及センターの関係者9名で、美郷町のきんかん経営継承について検討しました。

今回は、生産者の経営規模縮小の意向に伴って、ハウスが空くため、継承先について検討しました。これまでに整理した園地情報や出し手及び担い手候補の意向を確認しながら話し合い、関係者で方向性を整理しました。

今後も規模縮小や離農による空きハウスが増える見込みなので、関係機関と連携して支援していきます。



【熱心な意見交換】

5) 【全域】日向地域農業再生協議会労力サポート部会が開催

7日、普及センターで、関係者17名が出席し、労力サポート部会の全体会議が行われました。

会議では、令和5年度の活動実績と令和6年度計画(案)等について検討しました。

次年度の活動として、今年度の活動を踏まえて、援農隊の円滑な求人登録に向けた推進や新たにマッチングアプリの導入について検討を進めていくことになりました。

今後も、管内の労力確保支援の成果が出させるよう関係機関と連携して取り組んでいきます。



【サポート部会での検討】

6) 【全域】日向地域農業再生協議会担い手対策部会が開催

7日、労力サポート部会に続いて、普及センターで、関係者16名が出席し、日向地域農業再生協議会担い手対策部会の全体会議が行われました。

会議では、本年度の活動実績と令和6年度計画(案)等について検討しました。

次年度の活動として、今年度の活動実績を踏まえ、若手農業者の意見交換会の開催や担い手確保に係る先進事例視察、研修受入体制の強化など、検討を進めていくこととなりました。

今後も引き続き関係機関と協力し、管内の担い手の確保・育成に向け、継続的に支援していきます。



【担い手部会での検討】

7) 【日向市】経営開始資金等の受給者の就農状況を確認

7日及び12日、日向市において、経営開始資金等の受給者6名を関係者で訪問し、就農状況確認が行われました。

この就農状況確認は、受給者(新規就農者)の確実な育成と定着を目的に行うもので、確認調査では、受給者が提出した就農状況報告をもとに、これまでの栽培実績やほ場の状況等を確認しました。

今後も引き続き、受給者の技術・経営における課題の解決や計画に沿った経営が行えるよう支援していきます。



【受給者ほ場での検討】

8) 【日向市】新規就農相談会を開催

13日及び27日、日向市で就農を希望する2名に対して、新規就農相談会を実施しました。

就農希望者は、養鶏やミニトマトでの就農を希望しており、相談会では就農までの流れの確認や活用できる事業の説明、就農研修先の検討などを行いました。

今後も引き続き関係機関と協力し、円滑に就農できるよう、継続的に支援していきます。



【新規就農相談】

9) 【全域】 若手畜産農家を対象に畜産基礎研修会を開催

8日、管内の若手畜産農家を対象に畜産基礎研修会を開催し、4名が参加しました。

今回は、子牛の疾病対策をテーマに、農業経営指導士の藤島氏をアドバイザーに迎え、意見交換を行いながら子牛の免疫力を高めるためのポイント等について説明を行いました。

意見交換会では、品評会に向けた子牛作りのポイントや種付きが悪い等の問題発生時の対処法等について意見が交わされました。各参加者は、藤島氏や同世代の別参加者の意見に熱心に耳を傾けていました。

次年度も引き続き、若手農家の定着に向け支援を行っていきます。



【熱心な意見交換】

10) 【美郷町】 鬼神野地区の役員会でアンケート実施

4日、南郷鬼神野地区で、中山間直払制度集落協定に基づく役員会が開催されました。

役員会では、5年度事業実績や6年度事業計画、役員改選案等、総会付議事項の協議が行われました。

普及センターからは、令和5年2月に設置した「抑草ネット」に対する評価アンケートに記入をしてもらい、10名分を集計した結果、6名の役員が「省力的な技術だと思う」との回答がありました。

今後、このアンケート結果をもとに「抑草ネット」の地域内への普及に向け、関係機関と連携し推進方を詰めていく予定です。



【役員会での検討】

11) 【諸塚村】 諸塚産ウーロン茶のティーバッグを試作

6日、もろつかウーロン茶研究会がウーロン茶「清香森茶」のティーバッグ試作を行いました。

当日は、五ヶ瀬町の(株)宮崎茶房を訪れ、ティーバッグの試作及び協議や施設の見学、意見交換等を行いました。研究会員も納得のいく試作品ができあがり、新たな商品開発の機運が高まりました。

次年度も引き続き、新たな商品開発や販路拡大に向けて支援に取り組んでいきます。



【ティーバッグの確認】

12) 【諸塚村】 もろつかウーロン茶研究会が開催

22日、もろつかウーロン茶研究会が開催されました。

試作したティーバッグについて、抽出時間の検討と品質確認を行いました。抽出時間を変えながら、複数の条件を試し、最適な抽出時間を確認しました。

研究会員も納得のいく抽出時間と品質を確認でき、新たな商品のイメージをつかめたようです。

次年度も引き続き、ティーバッグ商品の完成に向けて支援に取り組んでいきます。



【実際の品質確認】

13) 【門川町・日向市】営振協重点展示ほ現地検討会が開催

15日に経済連、総合農業試験場、ミニトマトの産地のあるJA、普及センター等が参加して、門川町、日向市の生産者ほ場において、営振協重点展示ほ現地検討会が開催されました。

管内で実施しているミニトマト新品種の試験は、展示規模が大きいことや、これまでにデータ蓄積が少ない新品種4つについて試験を行っていること等から重点展示ほに設定されています。

現地検討会では、これまでの生育調査のデータをもとに、実際に栽培している生産者への質問も行いながら、栽培状況の確認を行いました。また、室内検討では慣行品種と新品種の食味について比較も行い、新品種の特徴を把握しました。

今後も普及センターとJA担当者にて、作終了まで調査を続けながら新品種の現地適応性を検討します。



【関係者による意見交換】

14) 【美郷町】くり主幹形密植栽培展示ほ検討会を実施

8日、美郷町役場及び展示ほ（西郷田代）にて、生産者2名、関係者7名が参加して、くり主幹形密植栽培展示ほ検討会が実施されました。

普及センターから、町内に4箇所設置した各展示ほでの生育状況、収量調査結果（推計）について説明を行いました。また展示ほの今後の管理について生産者と意見交換を行うとともに、現地で剪定方法（枝の更新）の確認も行いました。

令和2年に定植した展示ほでは、収穫が始まって2年目であり引き続き調査を行うため、生産者と関係機関が連携して展示ほ運営を進めます。



【展示ほ現地検討】

15) 【美郷町】冬春ミニトマト定例会で新品種の検討を実施

21日、JA日向西郷支店において生産者9名、関係者6名が参加し、美郷町冬春ミニトマト定例会が開催されました。

定例会では各生産者のハウス内状況や栽培の現状を部会員と共有し生産者同士での意見交換や販売実績、出荷色目の共有が行われました。

普及センターからは、営振協展示ほで実施している新品種の栽培試験の中間実績を報告し、新品種導入の参考になるなどの、生産者からの意見をもらいました。



【生産者による意見交換】

2 プロジェクト（基本、専門）以外の普及活動

1) 【全域】日向・東臼杵農山村女性会議実績報告会の実施

12日、普及センターで日向・東臼杵農山村女性会議が実績報告会を実施し、構成員7名、関係者7名が参加しました。

会では、令和5年度の構成員の活動について、実施者から活動報告が行われました。活動内容について質疑も活発に行われ、来年度の活動につながる有意義な時間となりました。

引き続き、女性農業者の資質向上につながるような支援を進めていきます。



【1年の活動を共有】

2) 【県域】製茶研修に参加

14日に総合農業試験場茶業支場で普通煎茶、19日に延岡市（茶生産者工場）で釜炒り茶の製茶研修会が開催され、管内生産者や関係機関・団体から延べ6名が参加しました。

当日は、実演を交えながら各製茶工程のポイント説明があり、製茶の感覚を養うことに繋がりました。参加者も、製茶の流れやポイントを掴んでくれたようです。

管内の令和6年産一番茶は、4月下旬より生産開始を予定しています。今年産も品質の良い茶が生産できるよう、支援していきます。



【製造研修への参加】

3) 【椎葉村】ほうれんそうの施肥設計支援等を実施

12～13日に、ほうれんそう生産者3名に対して、土壌分析に基づく施肥設計を支援し、プロジェクトや営振協展示場で検討した低コスト肥料の推進を行いました。

また、26日には、産地ビジョン検討会に参加できなかった生産者にむけて、アンケートによる将来予測と検討会の報告を行いました。

検討会や個別説明で産地ビジョン策定への合意が得られたので、今後は策定に向けて検討が円滑に進むよう支援していく予定です。



【設計資料】

4) 【椎葉村】ミニトマトの施肥設計支援を実施

6～18日に、ミニトマト生産者4名に、土壌分析に基づく施肥設計を支援しました。

土壌診断書を一緒に確認しながら、ほ場面積にあわせた施肥量を提示し、施肥量を決定していききました。

生産者によっては、細かくほ場を分けて分析・設計される方もいて、次作に向けた意気込みが感じられました。

5) 【日向市・美郷町・諸塚村】ホオズキ産地戦略ビジョン改訂を支援

7日、JA日向西郷支店において、部会役員4名、関係者7名が参加し、JA日ほおずき部会役員会が開催されました。

役員会では、事業実績や事業計画について検討が行われた後、産地戦略ビジョンの改訂に向けて協議を行いました。

新たなビジョンでは、5年後に新規栽培者を4戸確保することを目標に、定年就農予定者をターゲットに、定年就農予定者の受入体制を構築していくことを盛り込みました。

近年、生産者の減少が顕著であることから、関係機関と連携しながら産地維持に向けて取り組んでいきます。



【ホオズキ部会総会】

6) 【美郷町】ゆず剪定講習会を支援

1日、美郷町南郷のゆず園地にて、生産者5名、関係者3名が参加して、ゆずの剪定講習会が実施されました。

普及センターからは3～5月の栽培管理で、特に等級を下げる原因となる「そうか病」対策として、剪定時に越冬病斑がある枝葉の除去、薬剤散布の適期（発芽期～幼果期）について説明しました。

次に樹高を低くする際の枝の切り方（残し方）等、剪定のポイントを解説しながら剪定の実演を行いました。

生産者から剪定に関する質問が出され、剪定方法の理解が進んだように感じられました。



【ゆずの剪定】